

Press Release

報道用資料

2006年3月8日

インドの新車の魅力度は7年連続で向上**2005年インド自動車商品性評価(APEAL)調査**

CS(顧客満足度)に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック(本社:東京都港区、代表取締役社長:蓮見南海男、略称:J.D. パワー)は、2005年インド自動車商品性評価(APEAL)調査の結果を発表した。

当調査は、新車購入時から2~6ヶ月経過した車の所有者を対象に、インドにおける自動車の性能や装備品、デザインに関する商品性魅力度を調べるものである。8年目となる今回の調査は2005年7月から9月に面接調査を実施し、2005年1月から7月までに新車を購入した4,500人以上の個人ユーザーから回答を得た。調査対象車は12メーカー、35モデルである。

評価の内容は「エンジン/トランスミッション」、「乗り心地/ハンドリング」、「快適性/利便性」、「シート」、「内装/インパネ」、「空調関係」、「オーディオ」、「スタイリング/外装」の8つのカテゴリーで構成されている。

マルチ、ホンダ、シュコダ、トヨタのモデルが各セグメントで商品魅力度トップ

インドでは新車に関する商品性魅力度が7年連続で向上しており、業界全体の APEAL スコアは前回(2004年実施)より7ポイント増えて、1,000ポイント満点中787ポイントとなった。また、前回と今回の両方で調査対象となった21モデルのうち12モデルのスコアが前回に比べて向上している。

セグメント別ランキングでは、マルチのモデルが、コンパクトカーとエントリー・ミッドサイズカーの2つのセグメントで首位になった。今回セグメントの分類をし直したコンパクトカー・セグメントでは、マルチ・ワゴン R が第1位、マルチ・アルトが第2位、ヒュンダイ・サントロが2位と1ポイント差で第3位となった。また、エントリー・ミッドサイズカー・セグメントでは、マルチ・エスティームが第1位、フォード・アイコンが第2位、オベル・コルサ/スウィングが第3位となった。

インドでは、コンパクトカーとエントリー・ミッドサイズカーの2セグメントが売上台数全体の50%以上を占めている。このため両セグメントでは競争が激化し、メーカー各社は販売モデルの改善を続けている。

ミッドサイズカー・セグメントでは、ホンダ・シティが3年連続で第1位となった。第2位にはヒュンダイ・アクセント、第3位にはマルチ・バレノが入った。

プレミアム・ミッドサイズカー・セグメントでは、シュコダ・オクタビアが第1位になった。第2位にはトヨタ・カローラ、第3位にはシボレー・オプトラがランクインした。インド市場に再投入されたオクタビアは業界全体で最も向上しており、前年から37ポイントスコアを伸ばした。また、8つの評価カテゴリーのうち6つで、業界全体の新記録となるスコアをマークしている。さらに、自分のモデルを知人に奨める意向を持つ人の割合でも、オクタビアの所有者が最も高い。このことは商品魅力度が高いと製品を他者に推奨する意向も高まることを示している。なお、オクタビアは、先に発表した J.D. パワーの 2005 年インド自動車初期品質調査(IQS)でも同セグ

メントの1位になっている。

MUV、SUV、MPV およびバンからなるユーティリティー・ビークル・セグメントでは、最近インドで販売が開始されたトヨタ・イノーバが第1位になった。次いでマヒンドラ・スコルピオが第2位、マルチ・オムニが第3位となった。

<株式会社J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は米国J.D. パワー・アンド・アソシエイツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として1990年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。ISO9001 およびプライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト www.jdpower.co.jp まで。

<J.D. パワー・アンド・アソシエイツについて>

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門であるJ.D. パワー・アンド・アソシエイツ(本社:米国カリフォルニア州ウェストレイク・ビレッジ)は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。ISO9001 取得。

<ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて>

1888年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズは、スタンダード&ブアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエイツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界38カ国に290カ所以上の拠点を有し、2005年の売上高は60億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト www.mcgraw-hill.com まで。

<当調査に関するお問い合わせ先>

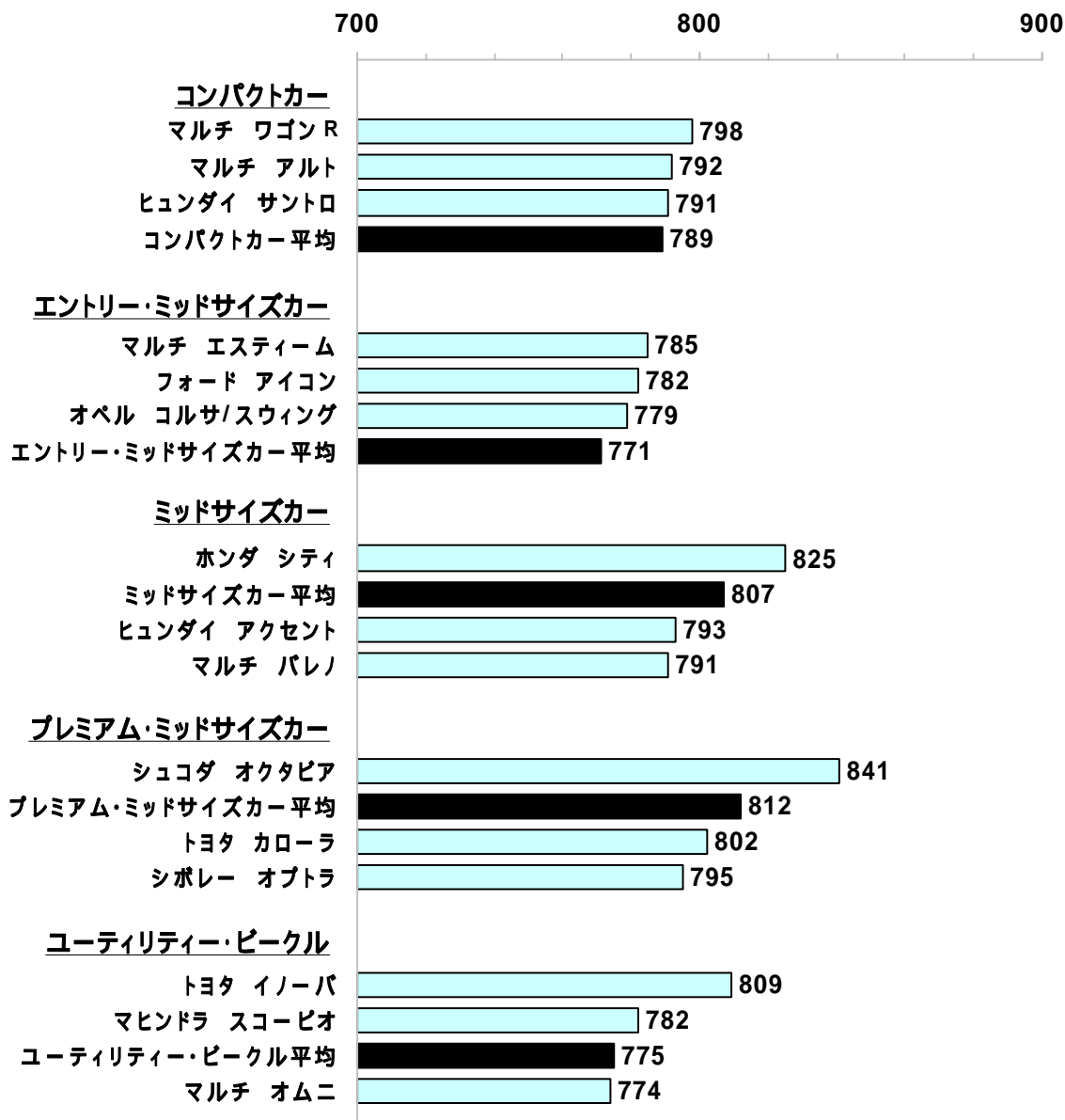
(株)J.D. パワー アジア・パシフィック
コーポレート・コミュニケーション・グループ 川野
住 所: 東京都港区虎ノ門5-1-5 虎ノ門45MTビル(〒105-0001)
電 話: 03-3459-1865
F A X: 03-3459-1810
e-mail: cc-group@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2005年インド自動車商品性評価(APEAL)調査SM

セグメント別ランキング トップ3モデル (1,000ポイント満点)



注) ランキングは、必要サンプル数を満たしたモデルが該当セグメントに3モデル以上ある車両セグメントのみ実施しています。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2005年インド自動車商品性評価調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2005年インド自動車商品性評価調査SM)を明記してください。